



佐世保自衛隊後援会だより

（発 行）
佐世保自衛隊後援会
会長 金子 卓也
佐世保市湊町6番10号
（佐世保商工会議所内）
TEL (0956) 22-6121

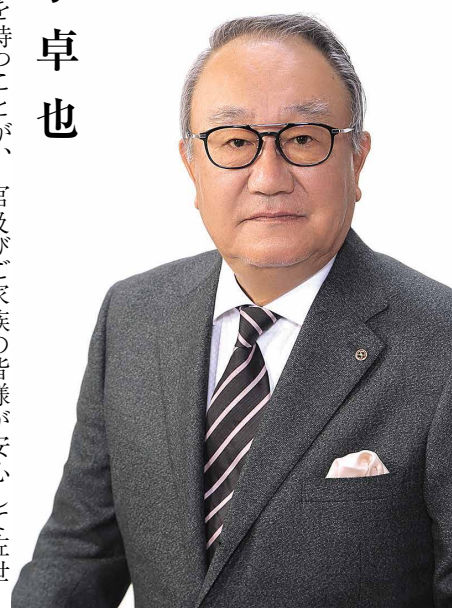
佐世保自衛隊後援会



ホームページ

新年のご挨拶

佐世保自衛隊後援会 会長 金子卓也



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、我が国を取り巻く安全保障環境は日々厳しさを増しております。平和な日常が決して当たり前ではないと痛感させられた一年でありました。

このような状況の中、自衛隊の皆様は国民の命と平和な暮らし、そして我が国の領土・領海・領空を断固として守り抜くため、日々厳しい訓練に励み、365日、24時間、休むことなく警戒監視や海外任務にあたっておられます。また、近年頻発する大規模自然災害等における救助・復旧活動においても大いに活躍いただき、自衛隊の存在の大きさを実感すると共に、改めて心より感謝申し上げます。

2025年は戦後80年という節目の年です。この節目の年に、私たち国民が、いま一度「自分の国は自分たちで守

る」という精神と誇りを持つことが、他国に対し大きな抑止力となり、この先も平和を維持する上で非常に重要となってくるのではないのでしょうか。我が国防衛の要衝の地であり、日本二自衛隊・米軍にフレンドリーな街という自負をもつ、こ佐世保が先頭に立ち、「自分の国は自分たちで守る」意識の醸成と、自衛隊活動への理解促進に引き続き取り組んでいく所存でございます。

さて、防衛予算の拡充が進む中、自衛官皆様の処遇改善は喫緊の課題であり、特に官舎の改善や教育・医療施設の充実を通じて、自衛官の皆様がご家族と共に安心して生活できる環境を整える必要があります。これは、自衛隊への入隊を志望する学生を増やす上でも非常に重要です。当後援会では昨年、国会議員や防衛省の皆様、佐世保港内の基地施設や官舎等の現状を知っていただくため、視察研修及び意見交換会を実施いたしました。今後引き続き行政と連携し、自衛

官及びご家族の皆様が安心して佐世保に赴任できるよう環境整備に積極的に取り組んでまいります。

明治22（1889）年の海軍鎮守府開庁以来、佐世保は基地と共に発展してきました。昨年3月には竹松駐屯地に第3水陸機動連隊が新編されるなど、防衛力の強化が進められており、佐世保の役割は益々重みを増しております。基地がその機能を最大限に発揮できるよう、地元企業が防衛関連の事業を受注できる支援体制の充実を図るとともに、県外企業が立地しやすい環境の整備も求められています。防衛産業を中心とした新たな産業基盤の形成に取り組み、地域全体の活性化が図られるよう尽力してまいります。会員の皆様には、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様はじめ、自衛隊員の皆様並びにご家族様の今後益々のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

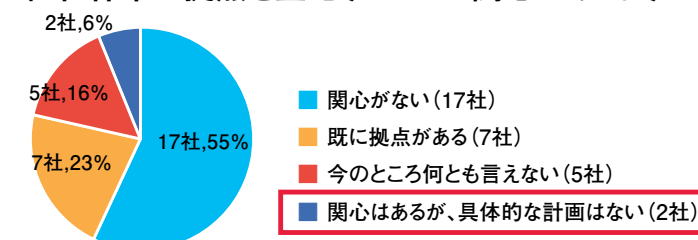
2025（令和7）年元旦

佐世保市への防衛産業立地に関するアンケート調査結果

昨今の国際情勢の変化に伴い、日本の安全保障環境は厳しさを増しており、防衛力強化と基地機能の向上が求められています。佐世保商工会議所および佐世保自衛隊後援会では、当地佐世保により強固な防衛基盤を築くべく、市外に立地する防衛産業企業を対象に、佐世保市への拠点設置に関する意向等を調査致しました。

ここでは調査結果の概要をご紹介します。

1. 佐世保市へ拠点を立地することに関心がありますか？

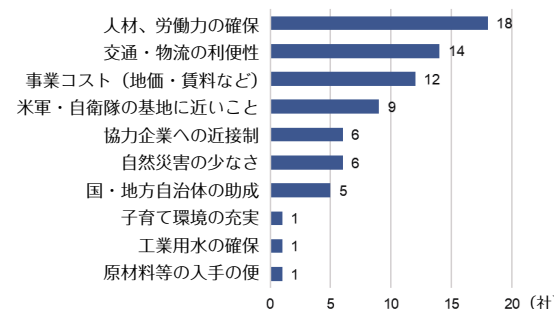


調査対象：海上自衛隊記念日行事の招待状発送先のうち、佐世保市外に本社を置く企業127社
調査方法：依頼文書を郵送、Googleフォーム又は調査票による回答
調査期間：2024年10月24日～11月22日
回答数：31件
回答率：24.4%

具体的には・・・

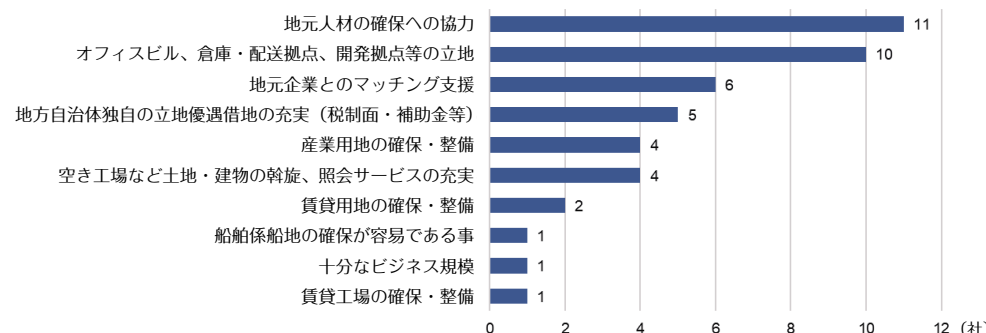
事務所（支店、営業所等）	2
工場・生産施設	1

2. 拠点立地の際に重視するポイントは何ですか？



佐世保市への拠点立地に「関心がある」と回答した企業が2社あり、「佐世保で行う仕事量・頻度が増えれば、拠点立地を検討したい」というコメントもありました。防衛予算増加に伴い、佐世保でも今後契約が増えることに期待すると共に、立地環境の整備・充実に向けた支援策の構築を進めて参ります。

3. 佐世保市が事業所立地の候補地となるためにどのような立地環境の整備・充実が必要ですか？



■第7期水陸両用レンジャー帰還式

相浦駐屯地で11月27日（水）、第7期水陸両用レンジャー帰還式が行われました。山地機動や水路潜入など、約14週間に及ぶ過酷な訓練を乗り越えた28名の隊員たちが、家族・部隊の同僚らによる拍手と歓声を浴びながら帰還しました。

北島一団長は労をねぎらいつつ、「能登半島地震で道路等が寸断される中、最初に災害派遣に駆けつけたのはレンジャー隊員によつて構成された部隊だった。災害時や万が一の有事の際に、他の者が成し得ない厳しい状況をも乗り越えることが、レンジャー隊員には期待されている。今後も技術、体力、気力のためめ鍛錬に取り組んでもらいたい」と激励しました。

■海上自衛隊佐世保音楽隊定例演奏会

11月30日（土）、海上自衛隊佐世保音楽隊の定例演奏会がアルカスSASEBOで開催されました。「吹奏楽の魅力・映画音楽の世界」をテーマに、迫力満点で躍動感ある演奏が披露されました。

今回は海上自衛隊の歌姫 三宅由佳莉2等海曹も出演。伸びやかで美しい歌声に、大勢の観客が酔いれました。



11/27 水陸両用レンジャー帰還式



11/30 佐世保音楽隊定例演奏会
（佐世保地方総監部 Xより）

長崎県防衛協会会長
長崎県知事
大石賢吾



明けましておめでとうございます。

佐世保自衛隊後援会の皆様、そして自衛隊及び関係団体の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

佐世保自衛隊後援会におかれましては、日頃から、自衛隊に対する理解の促進や海上自衛隊佐世保地方隊、陸上自衛隊相浦駐屯地等の活動への協力・ご支援・激励など幅広く活動され、成果をあげておられますことに深く敬意を表します。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境を振り返りますと、中国は軍勢力を急速に増強するとともに、尖閣諸島周辺を含む海洋活動を活発化させています。北朝鮮は核・ミサイル開発を進展させ度重なる弾道ミサイルの発射を強行しています。またロシアはウクライナ侵攻を継続し、北方領土を含む極東地域での活

編され、国境離島をはじめ多くの離島を有する本県としましては、非常に心強く思っております。

今後とも、長崎県防衛協会といたしましては、佐世保自衛隊後援会と連携し、様々な活動を通じて自衛隊に対する協力支援、県民の防衛意識の高揚に努めてまいりたいと存じます。

本年は、長崎空港開港50年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設40年など、様々な節目の年となります。一人でも多くの皆様へ「本県を訪れたい」と思ってもらえるよう、本県の歴史や文化、離島をはじめとした豊かな自然、そこから生み出された食などの多彩な魅力を、県民の皆様をはじめ、市町や関係団体の皆様と連携しながら磨き上げていくことで、国内外の方にもその魅力が伝わり、多方面の方々から「選ばれる長崎県」となるような県全体のブランディングにも取り組んでまいります。

佐世保自衛隊後援会の皆様には何卒お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、佐世保自衛隊後援会の限りないご発展並びに関係皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

佐世保市長
宮島大典



新年明けましておめでとうございます。

佐世保自衛隊後援会の皆さま、自衛隊及び関係団体の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、佐世保自衛隊後援会におかれましては、佐世保市に所在する海上自衛隊、陸上自衛隊、ひいては全国の自衛隊を支援する団体として、自衛隊の発展と地域経済の振興に寄与するため、数々の支援活動を行ってくださることは、金子会長をはじめ、歴代会長の皆様とご尽力の賜で皆さまの熱意とご尽力の賜であると深甚なる敬意とともに感謝の意を表する次第でございます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、日々厳しさを増し、複雑な情勢に直面しております。中国は東シナ海などにおける現状変更を試みる活動を活発化させ、昨年は軍

題の解決」の3つの方向性を定めております。今後も国防という崇高な国家的使命に協力しながら市勢を発展させ、市民生活の向上に努めていく所存でございます。

現在、崎辺地区におきまして、海上自衛隊の大型係留施設の工事が継続中であります。相浦駐屯地におきましても、水陸機動団に必要な隊庁舎新設の整備が継続中であり、新たに早岐射撃場の覆道式化についても実現する方向で事業が進んでいると伺っております。また、防衛力整備計画では、自衛隊施設の更なる強靱化事業が進められると示されており、ことから、佐世保地区の既存自衛隊施設についても、老朽化対策や防護性能を付与する対策が図られるものと考えており、このような自衛隊施設の整備・増強に関しては、地元企業の受注機会拡大の観点からも積極的な協力していきたいと考えております。

佐世保自衛隊後援会会員の皆さまをはじめ、自衛隊員の皆さま並びにご家族様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も素晴らしい年となりますようお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

佐世保地方総監
海将 俵 千城



令和7年の新春を迎えるにあたり、佐世保自衛隊後援会の皆様に謹んで新春の御挨拶を申し上げます。また、平素より防衛省・自衛隊、特に海上自衛隊佐世保地方隊の活動に対し、深い御理解と温かい御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年生じた海上自衛隊のヘリコプター墜落事故及び掃海艇「うくしま」における火災事象では、皆様に多大なご心配をおかけしました。再びこのような事故を生起させないという強い決意の下、再発防止策を徹底してまいります。

また、昨年は秘密保全に関する不適切な取り扱いや手当の不正受給といった不祥事も発覚し、国民の皆さまの期待と信頼を損ねる結果となりました。再発防止に向けてこれらの問題に真摯に向き合い、各隊員が「誠実」に職務に取り組む、厳正な規律の維持に努めてまいります。

る態勢を整えて参ります。

一方で、自衛隊がその使命を果たすためには、地域社会における皆様の理解と協力が不可欠です。任務や訓練のために長期間家族と離れる際、家族を支え、見守ってくださる地域の皆様の支えのおかげで、安心して職務に邁進することができており、改めて深く感謝を申し上げます。

佐世保地方隊「丸」となると、募集、採用及び就職援護の取組強化、隊員の処遇改善等の人的施策を推進すべく、佐世保自衛隊後援会とはこれまで以上に連携を図って参りたいと考えております。

令和7年が皆様にとって平穏で実り多き年となることを心より祈念いたしますとともに、佐世保地方隊「丸」となつて任された責務を全力で果たしてまいりますので、本年も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、佐世保自衛隊後援会の益々の御発展と会員皆様の御多幸を祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

水陸機動団長兼相浦駐屯地司令
陸将補 北 島 一



明けましておめでとうございます。

佐世保自衛隊後援会の皆様におかれましては、心穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

しかし、世界を見れば、ロシアによる軍事侵略が続くウクライナをはじめ、戦禍の中で新年を迎えた人々も少なくありません。ロシアによるウクライナ侵略が開始され、間もなく3年を迎えようとしています。

ロシアは、直前までウクライナ侵攻計画を繰り返し否定していたにも関わらず、2022年2月24日、突如として侵攻を開始しました。この侵略は、武力の行使を禁ずる国際法と国連憲章の深刻な違反であり、国際秩序全体の根幹を揺るがすものです。また、ウクライナ各地においてロシアによる残虐で非人道的な行為が明らかになっていますが、何の罪もない民間

防衛力の抜本的強化に取り組んでいるところです。

さて、「世界価値観調査」という国際的な世論調査があります。この調査の中で「もし戦争が起つたら、国のために戦うか?」という問いがありました。「はい」との回答は、最高値のベトナムで96.4%、中国88.6%、ロシア68.2%、アメリカ59.6%、ウクライナ56.9%とほとんどの国で50%を超える方、日本で「はい」と答えたのはわずか13.2%。断トツの最下位でした。この数字を見て周辺国はどう感じるでしょうか?

国防は、自衛隊だけで為し得るものではありません。「日本は手ごわい」「日本を攻めても失敗に終わる」と周辺国に知らしめるためには、国民の国防意識こそが最も重要です。佐世保自衛隊後援会の皆様におかれましては、本年も、市民・国民の国防意識高揚のため、より一層のお力添えを賜らんことをお願い申し上げます。新年のご挨拶に代えさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

